

語句・文法

- 1 (1)見たい (読みたい)  
(2) (しみじみと) いとおしんで  
(3)すばらしい
- 2 (1)本当に自然と気が晴れていく。  
(2)きつとよくないだろう。
- 3 (1)主格の格助詞 (2)連体修飾格の格助詞  
(3)同格の格助詞

内容の整理

- ①母 ②源氏物語 ③おば ④法華経

読解

- 1 この源氏 (源氏の物) へ見せ給へ〔五八・4〕  
【解説】『源氏物語』を一の巻から全て読ませてほしい、ということである。
- 2 ウ  
【解説】当時の女性が一般的にそうであるように、来世のための仏道修行に励むことをせず、「物語」に熱中していることへの後ろめたさを感じていたため、僧にたしなめられる夢を見たものと考えられる。  
3 将来は『源氏物語』の美しい女性たちようになるだろうという気持ち。  
【解説】今はまだ幼いが、将来は、物語の中で源氏の寵愛を受けている美しい女性のようになりたいと夢見ているのである。  
4 後の位も何にかはせむ〔五八・14〕  
【解説】当時、女性として最高と思われた「後の位」でさえも、物語を読むことに比べたら何でもない、と言っている。

発展

- 1 (1)作品執筆の時点。  
(2)少女期に物語に熱中したことを振り返り、あきれたことだと反省している。  
【解説】少女時代の作者に対する後年の自分自身の批評である。今になってみると、物語に熱中し、自分を登場人物になぞらえたことは、子どもっぽい行為だったと振り返っている。作者の少女時代のロマンティズムは、時を経て、人生の現実さらされ失われていったと思われる。少女時代への懐かしさもある。